

しまかみ

燕市立島上小学校 TEL 97-2255 FAX 97-2526
E-mail e-shimakami@g.tsubame-city.ed.jp

島上小HP
QRコード



思いを伝える



校長 木部 正実

3学期もあっという間に1か月が過ぎました。この期間に子どもたちは様々な場面で自分の思いを伝える活動をしていました。

1月14日（火）には校内書き初め大会がありました。冬休みの間に考えた今年の目標を言葉にして筆や鉛筆を使って表しました。廊下に掲示してあるのでご覧になった方もいると思います。



5年生と担任が書いた新年の目標



ちょっぴり緊張した
名刺交換

2月10日（月）には、4年生が分水北小学校の4年生と、18日（火）には5年生が分水北小学校の5年生と交流会を行いました。来年度、自然教室や修学旅行を分水北小学校と合同で行うことに伴い、子ども同士の交流を深めようということで計画されました。お互い、はじめは恥ずかしそうに名刺交換をしていましたが、一緒にゲームなどの活動が進むにつれ、だんだんと打ち解け合って笑い声や会話が会場に響き渡りました。

2月12日（水）には4年生が島上地区にある横田切れ公園にもっとたくさんに人から来てほしいとの思いから、PR活動に出掛けました。道の駅国上と原信燕店に分かれて、これまで学習してきたことをボードにして発表しながら、自作のパンフレットをお客様に配布しました。晴れていたとはいえ、肌寒い天候でしたが、子どもたちの呼びかけに応じて足を止めて話を聞いてくれたり、パンフレットを受け取ってくれたりしていただきました。なかには、「頑張ってるね」「私は行ったことがあるよ」と声を掛けてくださる方もいて、子どもたちの励みになりました。後日、パンフレットに載せたQRコードを使ってアンケートに答えてくれた方がおり、子どもたちは自分たちが取り組んだことに手ごたえを感じ、大変喜んでいました。



お店の前で発表したり、パンフレットを配ったりした4年生



17日（月）にはボランティアの方に感謝する会をしました。今年度、様々な活動で教えていただいたり、見守ってくださったりしたボランティアの皆さんに気持ちを伝える会です。「ありがとうございました」というたくさんの声で会場が温かな雰囲気に包まれました。



感謝のメッセージの贈呈



子どもたちがアーチを作って感謝を伝える

さらに、1月の終わりから、私から「にこキラ問題」と称して、私から毎週全学年に問題を出しています。分かった人は校長室に来て答えます。大事なことは「なぜその答えが分かったか」ということです。休み時間になると子どもたちは校長室に来て、必死になって理由を説明してくれます。



校長室前にある
にこキラ問題

「自分の思いや考えを相手に伝える」ということは難しいことです。特に島上小の子どもたちは少人数で、子どもたちは小さい頃からずっと一緒だったこともあり、言葉できちんと伝えなくても分かるようなところがあります。また、家庭においても両親に加えて祖父母もいる家族が多いこともあって、きちんと伝えなくても周りの人が察して物事が進んでいくこともあると思います。これらのことは決して悪いことではありません。子どもたちにとっては幸せなことだと思います。しかし、これからの子どもたちはもっと広い世界で様々な人とかかわって生きていくことになります。子どもたちが大人になり、社会に出て活躍するためには、「自分の思いや考えをきちんと相手に伝える力」がとても大事になります。

3学期も残り1か月余りとなりました。20日（木）には1年生は年長児との交流会、3年生はおじいさん・おばあさんを招いての交流会を行う予定です。また、3月6日（木）には、6年生を送る会と自分の思いを伝える場面が計画されています。

これからも1日1日を大切に、子どもたちの「伝える力」を育てていきます。

学習参観に全員集合！ 島上小への思い

7日（金）に今年度最後の学習参観がありました。雪が降るあいにくの天候でしたが、保護者の皆様全員からおいでいただきました。あらためて保護者の皆様の島上小への思いを感じる出来事でした。おいでいただいた皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。今回の学習参観は、これまでの学習の成果や成長してきたことを発表する学年が多くありました。保護者の皆様もお子さんの成長を感じることができたと思います。

また、学習参観後は分水地区の児童数減少に伴う島上小の未来を考える会もありました。PTA会長からの説明を受け、各学年で様々な意見をいただきました。皆様の意見についてはマチコミメールで一覧にして提示しましたので、ご覧ください。

この件については来年度以降、継続して話し合っていきたいと考えております。具体的に日程などが決まりましたらお知らせします。今後とも島上地区の子どもたちの健やかな成長のためにご協力をお願いいたします。



音読を聞いてもらう
（1年）



できるようになったなわと
びを披露する（2年）



よさこい踊りで
感謝を伝える（6年）

第60回新潟県中越教育美術展
令和6年度新潟県書き初め大会
第18回良寛書道展

特選	1年：中村	依月
金賞	3年：小黒	華鈴
準特選	6年：酒井	愛乃音
準特選	3年：唐澤	実琴

島上っ子の
活躍！

